

# (JPO) 一般社団法人日本出版インフラセンター プレスリリース

2023年9月27日

一般社団法人 日本出版インフラセンター  
雑誌コード管理委員会

## 定期刊行物コード（雑誌）運用方法の見直しについて

関係各位

JPO 日本出版インフラセンター雑誌コード管理委員会（豊栖雅文委員長：小学館）では、2023年9月14日に開催された管理委員会において、雑誌の共通商品コードである「定期刊行物コード（雑誌）」（いわゆる雑誌 JAN コード）の運用方法を見直す決定をいたしましたので、お知らせいたします。

現行の「定期刊行物コード（雑誌）」では、発行年を数字1桁で区別していますが、この方法では10年に一度、コードが重複する（＝コードの再利用）という問題が起きています。近年、ネット通販の拡大により、従来の店舗販売に比べ商品が長期間にわたって販売されるようになってきたことから、商品コードが再利用された場合、商品情報の重複や商品の誤認などがこれまで以上に多く発生し、商品販売に混乱を生じる恐れが出てきています。加えて「定期刊行物コード（雑誌）」がコード体系を準ずる GS1 では、2019年より国際的な商品識別コードである GTIN（注）の再利用が停止されたこともあり、当委員会におきましても対応方法を検討してまいりました。

（注）GTIN=Global Trade Item Number

### 【採用する運用方法の変更】

「定期刊行物コード（雑誌）」の4桁目に設定されている「予備コード」を活用することとし、その他の桁の使用方法などには一切変更を加えないことといたします。

具体的には、2026年に発行された刊行物の場合、新たに予備コードに西暦年下2桁目の「2」を設定し、現在12桁目（年号コード）に設定している西暦年下1桁の「6」と併せて、2026年の下2桁を区別できるように変更いたします。（別紙をご参照ください）

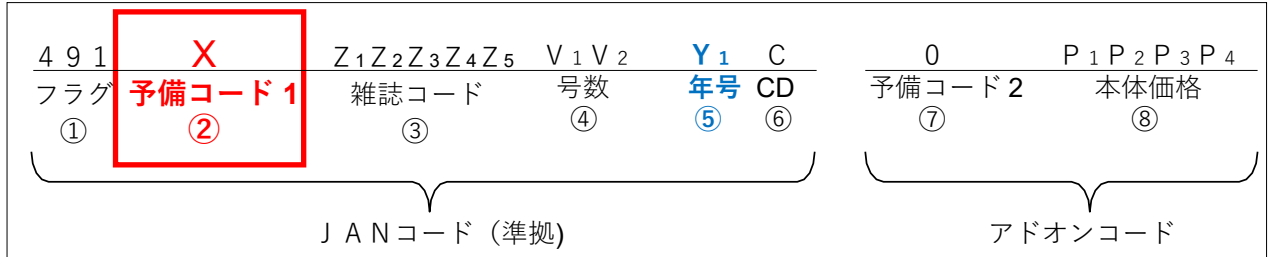
新しい体系への移行は、最短で2026年発行分からとすることを目標といたしますが、今後、関連団体との協議で、具体的な施行日を決定するものといたします。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人 日本出版インフラセンター (JPO)  
info-2nd@jpo-center.jp

定期刊行物コード（雑誌）運用方法の見直しについて

**新コード体系 【 JANコード（準拠） + アドオンコード体系 】（案）**



◆ 雑誌コード：10097 「BE-PAL」 2026年1月号 本体価格1,000円とした例

< 現行 >

4 9 1 0 1 0 0 9 7 0 1 6 4 0 1 0 0 0

< 見直し後 >

4 9 1 2 1 0 0 9 7 0 1 6 8 0 1 0 0 0

\* 新コード体系 案 ②予備コード1と⑤年号コード一覧

例

発行年度 西暦	② 予備コード1	⑤ 年号コード
2024	2	4
2025	2	5
2026	2	6
2027	2	7
2028	2	8
2029	2	9
2030	3	0
2031	3	1
2032	3	2
2033	3	3
2034	3	4
2035	3	5
2036	3	6
2037	3	7
2038	3	8
2039	3	9

発行年度 西暦	② 予備コード1	⑤ 年号コード
2040	4	0
2041	4	1
2042	4	2
2043	4	3
2044	4	4
2045	4	5
2046	4	6
2047	4	7
2048	4	8
2049	4	9
2050	5	0